

がんによる苦痛をやわらげる

『緩和ケア』ってなに？



がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、

痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。

「緩和ケア」という言葉に、どのようなイメージを持っていますか？

「がん治療ができなくなった方への医療」「がんの終末期に受けるもの」と思っている方も、まだまだ多いようです。

緩和ケアは、がん治療の初期段階から、がん治療と一緒に受けることができます。

苦痛のせいで日常生活やがん治療自体が困難となる場合があります。

緩和ケアはがん治療を充実させる大切なケア。苦痛が緩和されれば、おだやかな時間を取り戻せます。

緩和ケアを受けると、こんなメリットがあります。

- がん治療中に経験する苦痛を伴う症状(吐き気、嘔吐、痛み、倦怠感など)が緩和され、がん治療に取り組む力がわいてきます。
- 患者さんやご家族の不安や心配事など、心のつらさや経済的な心配事もやわらげるために緩和ケアのスタッフがお手伝いします。

緩和ケアは、がんと共生することを可能にします。



《よくあるご質問》

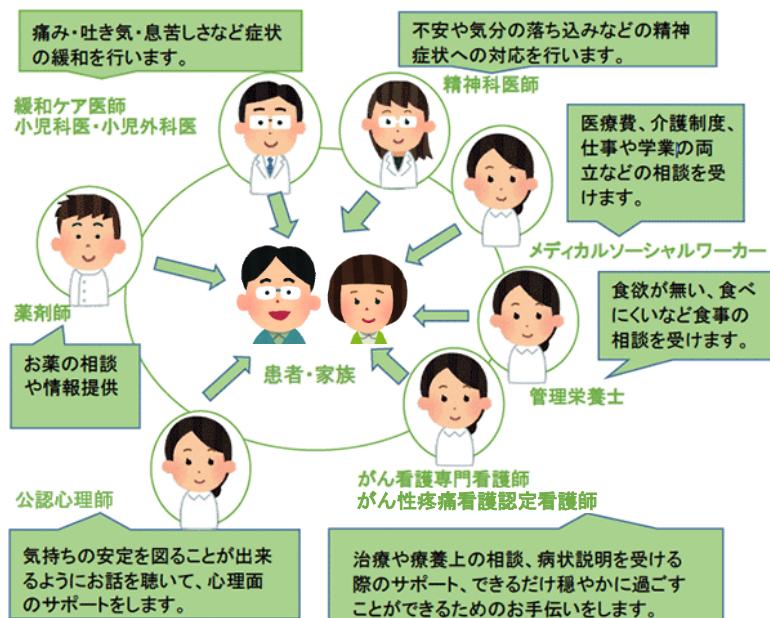
Q 日大板橋病院では、緩和ケアを目的とした入院はできますか？
また、地域の医療機関から、緩和ケア外来への患者紹介は可能ですか？

A 当院には緩和ケア病棟がないため、「緩和ケアを目的とした入院」は現在行っておりません。痛みや吐き気などつらい症状の対応が必要な場合には、かかりの診療科（主科）の主治医の診察の上、入院となる場合があります。入院中は主治医からのご依頼で緩和ケアチームが関わることが可能です。
緩和ケア外来では他院で治療中の患者さんからのご相談もお受けしていますが、当院には緩和ケア病棟がないため、当院での入院治療は行えません。必ず紹介元の主診療科との「併診」になります。当院には通院のみの対応になり、点滴投与や緊急時の対応は行っておりません。

緩和ケアチームとは

当院には、緩和ケアチームがあり、入院患者さんに対応しています。

チームメンバーは、医師、がん看護専門看護師、がん性疼痛看護認定看護師、薬剤師、公認心理師などで構成しており、各病棟で主治医や看護師からの依頼を受けて活動しています。



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

TEL: 03-3972-0011 (相談直通) 0570-01-8111 (ナビダイヤル)